

【薬学部】

卒業認定・学位授与の方針[ディプロマ・ポリシー]

実力主義の伝統を堅持しつつ、高い専門性と倫理観、国際的な視野と「医薬分子をととして人類の健康を守る」志をもった人材養成を目標とし、以下の知識、能力等を身に付け、学科ごとに定める所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、薬学科の卒業生には学士（薬学）、生命創薬科学科の卒業生には学士（薬科学）の学位を授与する。

1. 自然・人間・社会に係る幅広い教養を修得し、専門分野の枠を超えて横断的にものごとを俯瞰できる能力。
2. 医療、創薬、薬事行政等に携わる者として求められる倫理観。
3. 薬学分野に応じた基礎学力と、その上に立つ専門知識。
4. 薬学に関連する分野に関する知識と教養ならびに倫理観に基づき、自ら課題を発見し、解決する能力。
5. 修得した専門知識や教養をもとに、他者とコミュニケーションをとり、国際的な視野を持って活躍できる能力。
6. 修得した専門知識や教養をもとに、専門分野に応じたキャリアを形成し、自己を管理する能力。

教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

1. 「医薬分子をととして人類の健康を守る」志をもった優れた人材を育成するという教育研究理念に基づいて、学科ごとに定める人材育成に関する目的を実現するための学士の教育課程を編成する。
2. 本学の伝統である実力主義の教育方針に則り、2つの学科の緊密な連携のもと、総合的な生命科学及び情報科学としての薬学を担い、基礎と臨床・公衆衛生の橋渡しに貢献できる人材を育成するための厳格な教育課程を実践する。
3. 段階的な知識の修得を図るため、一般的素養を深めるための「一般教養科目」、薬学専門分野の基盤をなす「基礎科目」、各専門分野に応じた進路に必要な能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。
4. 「一般教養科目」では、自然・人間・社会を幅広く俯瞰できる能力、論理的・批判的思考力、コミュニケーション能力、国際性、自己管理能力を養う授業科目を効果的に配置する。
5. 英語教育においては、少人数クラスや習熟度別クラスを取り入れ、学習効果を高める主体的な学びを導く教育を行う。
6. 「基礎科目」では、初年次より「基幹基礎科目」、「専門基礎科目」、「関連専門基礎科目」の授業科目を効果的に配置し、併せて学生が自ら学ぶ学修時間を確保し、基礎学力を強化した上で、「専門科目」との接続を図る。
7. 「専門科目」では、講義の他に、多くの実験、実習、演習等の授業科目を重点的かつ効果的に組み合わせることによって薬学専門知識を深化させ、併せて他の授業科目との関連や学問探求の方法を学び、かつ人間性の陶冶と問題発見・解決能力の育成を図る。
8. 「一般教養科目」「基礎科目」「専門科目」では、薬学分野に応じたキャリア教育、倫理観を養う内容を含む科目を配置し、各科目においては、講義、演習、実験、実習、スモールグループディスカッション（SGD）、PBL等の多様な教育方法を用いて授業を実施する。
9. 学士課程の集大成として、卒業研究を配置する。
10. 学修成果の評価にあたっては、筆記試験、レポート、口頭試験、実技試験等の多様な方法を用いて、各科目で定められた到達目標の達成状況を総合的に評価する。
11. 薬学という専門分野を超えて幅広く関心のある科目を履修できるよう、他学部・他学科間の履修しうる制度を設けることにより、幅広い視野と新しい分野への挑戦意欲をもった人材の育成を図る。

入学者受入れの方針[アドミッション・ポリシー]

建学の精神と実力主義の伝統に基づく、本学の教育研究理念のもと、

1. 高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力に加えて、人類の健康を守ることを通じて社会に貢献しようとする志を備え、専門分野の学習に必要な学力を持つ人。
 2. 薬学の発展を担うことを通じて、人類の健康保持と疾病の克服を実現するために、将来広く国内外で国際的な視野を持って活躍するための基礎的な素養を身に付けている人。
 3. 自らの考えを表現する力を備え、主体的に多様な人々と協働して学ぶ意欲のある人。
- を多様な選抜方法により広く求める。

【入試形態ごとの入学者に求める能力と、その評価方法】

（A方式（4教科型）入学試験）

幅広い教科・科目に対する基礎知識と思考力、判断力を持つ人を、大学入学共通テスト（4教科）の得点を用いて選抜する。

（A方式（3教科型）入学試験）

学部の特性に見合う教科・科目に対する基礎知識と思考力、判断力を持つ人を、大学入学共通テスト（3教科）の得点を用いて選抜する。

(A 方式 (2 教科+英語資格検定) 入学試験)

各学科の特性に見合う教科・科目に対する基礎知識と思考力、判断力及びコミュニケーションスキルとしての英語を活用する能力を持つ人を、大学入学共通テスト (2 教科) の得点と英語の資格・検定試験の成績を用いて選抜する。

(B 方式入学試験)

各学科の特性に見合う基礎知識とそれを応用する能力及び思考力、判断力を持つ人を、各学部・学科独自の学力試験 (数学、英語、理科等) の得点を用いて選抜する。

(学校推薦型選抜 (指定校制))

高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人で本学を第 1 志望とする人を、書類審査、面接、口頭試問により選抜する。

(総合型選抜 (英語資格検定+特定教科評価))

本学の特性に見合う基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲と国際的な視野を持つ本学を第 1 志望とする人を、書類審査、英語の資格・検定試験の成績、小論文、面接、口頭試問により選抜する。

(帰国生入学者選抜、外国人留学生入学試験)

学問に対する姿勢や考え方、海外で身に付けた能力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人を、資格・検定試験の成績、小論文、面接等により選抜する。